

モンゴリアンクラブ

No.38 2022/10/12
発行：鳥取県モンゴル
中央県親善協会

今年も青少年とオンラインで交流

2022年度第1回役員会を4月24日に開催しました。

この時、モンゴル中央県日本語学級の子も達とオンラインで交流しました。子ども達は日本人の日本語を生で聞く良い機会となりました。

2022年度総会については、コロナ禍のため昨年度と同様書面議決とすることとなりました。

総会の議決結果は次のとおりです。
会員数84人中承認84件で全議案が承認されました。

コロナ禍をきっかけにオンラインが身近な交流手段になりました。今年度の事業計画として青少年オンライン交流事業を昨年度の縮小版で実施します。



2022年4月24日役員会でモンゴル中央県日本語学級の子も達とオンライン交流

<お知らせ>

モンゴル国立馬頭琴交響楽団米子公演が開催されます

主催：米子市、一般社団法人米子市文化財団

日時：2022.12.16(金)午後7時から

場所：米子市公会堂 大ホール

入場券：全席自由 一般＝前売り4,000円、当日4,500円

高校生以下＝2,000円(前売・当日とも)

詳細は後日チラシでお知らせします



モンゴル中央県の最新事情



今年8月に当協会の高塚事務局次長がモンゴル中央県を訪問。日本語学級の子ども達と交流し、堆肥化施設の様子を確認しました。

新しい
日本語
学級



新しい日本語学級のある建物の前で、オトゴンチメグ先生や子ども達と。教室は前より広く、明るいです。



当協会が贈呈した日本語学級のプレートの上にはひらかなで「ようこそ」と書かれています。



モンゴル中央県の家庭青少年発達局長 バダムツェツェグさん(左)の退職に伴い、新しくオユントヤさん(右)が就任されました。

バダムツェツェグさんには日本語学級ができた時からの責任者として永年お世話になりました。今後はボランティアとして日本語学級に関わってくださいます。



鳥取のメル友とマンツーマンで日本語の学習をしている子ども達。後ろの壁のイラストは子ども達の手描き。日本のアニメが大人気です。

母子家庭等就学支援
対象の双子たち



姉 ドルブルジャブ(右)と
妹 ツェベルマー(左)

当協会の就学支援事業により国立大学医学部最終学年6年生になりました。2023年5月卒業予定です。モンゴルで医師として働くためには、大学6年就学後4年のインターン(無給)を終えなければなりません。



姉のドルブルジャブは鍼・灸などモンゴルの伝統的医療を勉強しています。大学卒業後、中国の医療を2年間学ぶため、中国語を勉強し4級に合格しています。

経済的自立のため、理髪技術を習得中です。



妹のツェベルマーは2年生までは一般の医学部でしたが、3年生から歯科医コースに変わりました。歯科医で働くためには大学6年修了後、1年間は自由に働くことができるので、生活費を貯めて、その後インターンを2年間行います。大学卒業後は歯科医院に勤務する予定です。

日本語の学習も今年3月に再開し、7月にN3に合格しN2を目指しています。

堆肥化施設の
稼働状況

堆肥化施設で作られた肥料で野菜のハウス栽培が盛んにおこなわれています。

右の写真はいちご畑と堆肥化施設を管理しているバヤルフーさんがスイカをふるまってくれているところです。



日南町からランドセルをプレゼント！

～思い出のランドセル、ゾーンモド市の子どもたちへ



日南町の住民からの「息子が使っていたランドセルを活用してほしい」というアイデアをきっかけにこの運動が実現しました。

ゾーンモド市から派遣されているノミン交流支援員自身、日本で働くご両親から贈られた赤いランドセルを友達が使っている姿に憧れていました。現地の子どもたちが使うのはナップザックが中心です。軽く、丈夫で、収納性にも優れた日本のランドセルは、世界的にも人気があります。

ノミン交流支援員を中心にゾーンモド市のニーズを調査し、50個の寄贈を目標としました。しかし、関係機関の協力やメディアに取り上げてもらったことで、運動に共感した方から目標を超える80個のランドセルが届けられました。中でも島根県の各市町に住む方から多くのランドセルが寄せられました。

ランドセルにはいくつかメッセージが添えられたものがありました。「ランドセルを使ってくれてありがとう」「大切に使ってもらえたらうれしいです」「6年間、雨の日も風の日もいっしょに通ったランドセルです。ランドセルの中にたくさんの思いを込めて送ります」といった、心温まるものも寄せられました。

ランドセルは8月中旬ゾーンモド市に向けて発送しました。

この運動はSDGsのゴール「4 質の高い教育をみんなに」「17 パートナシップで目標を達成しよう」に寄与するものと考えています。

ゾーンモド市には2,000人の子どもたちが学校に通っています。ひとりでも多くの子どもたちにランドセルを届けるためにも、継続的な運動にしたいと考えています。

日南町担当者より寄稿

よなご国際交流フェスティバルでモンゴル紹介

公益財団法人鳥取県国際交流財団主催の国際交流フェスティバルは多様な文化をもつ人々がお互いに尊重し合える地域を目指して、気軽に“いろんな世界”と出会えるイベントです。

今年は9月25日(日)に米子市文化ホールで開催され、当協会もモンゴルのブースでモンゴル紹介、靴下や岩塩の販売をしました。

日南町交流支援員のノミンさんは銭太鼓グループに入って練習しており、舞台発表にも参加しました。

